

各 位


 公益社団法人 日本バリュー・エンジニアリング協会

東日本支部 支部長 高橋 均

## 東日本支部 2016年度部会メンバーの募集について

弊会では東日本と西日本の2支部を置き、それぞれの地域でVE普及活動を展開しております。関東以北を主な活動エリアとする東日本支部におきましても、事業所見学会や特別講演会などを定期的に開催しているほか、切り口が異なる6つの部会を編成し、実務への応用展開を目的とした研究開発を積極的に進めております。

この部会活動には毎年100名を越える方々が登録され、VEのエキスパートによる技術サポートのもと、下記のようなメリットが得られるとの高い評価をいただいております。

新年度を迎えるにあたり、2016年度（2016年4月～2017年3月）の活動メンバーの登録を広く受け付けます。この機会にいずれかの部会へのご登録をお勧めいたします。

問9

今年度、部会活動に参加したことで得られたメリットは？（複数回答可）



2016年2月実施 「部会活動に関するアンケート調査」より

### ◆ ご登録にあたって ※ご登録は一人2部会までとなります

- ・「GIVE & TAKE」が活動の前提です。実参加を伴わないメンバー登録はご遠慮ください。
- ・VEに関連する具体的なテーマで研究討議を行いますので、VEリーダーまたはVEリーダーと同等レベルの基本知識をお持ちの方の参加を希望いたします。

### ◆ 部会活動への参加費用について

- ・会員（法人・個人）および官公庁・行政機関の方は、部会への登録をはじめ、支部が主催する事業所見学会や特別講演会、部会内の研究活動に参加するための費用はすべて無料です。
- ・上記以外の方は、お一人様30,000円（税別）の部会登録費を申し受けます。

### ◆ 登録方法と締め切り ※添付の登録申込書により、協会事務局までFAXでお申し込みください。

- ・4月中旬から下旬にかけて各部会のキックオフが予定されているため、メンバー登録の受付期間を **4月11日まで** とさせていただきます。その後も随時登録を受け付けますが、部会運営上、できるだけスタート時点からのご参加をお勧めいたします。

# 2016 年度 各部会の活動概要

- 経営とVEの接点を探る -

## マネジメント部会

対象者: 経営スタッフ、起業家、新規事業・起業に関心のある方

主 査: 福原政則[福原イノベーション研究所 代表取締役社長]

昨年度は“日本の未来を元気にする”をスローガンに、AIやIoTなどの先端テクノロジーやイノベーションを起こした元気な成長企業の社長にインタビューし、経営戦略や組織のマネジメントについて研究してきました。本年度もこれらを継続し、次の2つの研究活動を通じて経営の本質を探っていきます。起業家精神を持って、新しいビジネスの構築や事業化、経営の本質を一緒に考えてくださる方々のご参加をお待ちしております。

(1)ビジネスモデルの構築手法の研究【仮説】 <研究会開催予定:1回/月>

①訪問企業の経営戦略のキモを仮説 ②実施可能なビジネスモデルの構築方法を研究

(2)トップインタビュー【検証】 <企業訪問予定:年3~4回>

JVA受賞企業を中心に社長インタビューで経営戦略のキモを検証し、VE情報誌に掲載する。



- VEの普及・定着と成果の拡大 -

## VE推進部会

対象者: 改善活動の推進事務局、人材育成・教育研修部門の方

主 査: 大久保 匠[富士通ゼネラル 情報通信ビジネス推進室担当部長]

VE推進に関わる課題の克服を月1回A・B2つの分科会で検討しています。不定期に全体会議を定時内で行い、支部情報の共有、部会運営の課題議論、合宿研修について企画しております。

「VE普及推進研究会」(A分科会)では、昨年度の活動で作成したVE推進活動評価表を用いて自社の状況を把握。新たな参加者といっしょに、メンバーで評価結果を共有しながら、見えてくる課題の解決を目指します。あなたの会社に適したVE推進活動の糸口が見つかるはずですよ。

「VE実践・活用研究会」(B分科会)では、「実践からの知恵の結集」を意識した実践に役立つ手法を研究しています。本年度は機能の定義のテクニックに焦点を当て、VEの実践に一番大切な教育に関するテーマを取り上げます。部会へはご自身の課題解決のつもりでお越しください。



- Marketing the future -

## マーケティング部会

対象者: マーケティング全般、事業企画・商品企画部門の方

主 査: 沼澤朋子[横河電機 IAPF共通技術開発センター]

多様化する価値の調査・研究 -Phase 3-

～価値ある商品づくりと顧客目線との調和のためのプロセス探求～

いま、一億総中流の前提が崩れつつあり、なにをどう創ったら売れるのかわかりにくい時代です。この価値の多様化した時代を踏まえ、当部会ではVEをマーケティングの武器とすべく、マーケティングの戦略・戦術の基礎研究を通じ、顧客にとっての「価値」を探求してきました。

昨年度は顧客のニーズを見える化し、価値を企画するために役立つシートづくりに挑戦しました。

**今年度は、これまで蓄積した研究結果を活用し、世の中に貢献するアイデア発想に挑戦します。**

参加したら必ず何かを持ち帰る・・・そんな部会としたいと思っています。皆様のご参加をお待ちしています。



- めざせ VEイノベーション -

## R & D 部 会

対象者: 新 VE 手法の創造、VE の普及・教育・実践などに携わる方

主 査: 三好達夫[三菱電機 本社生産技術部]

「多様性と簡易性」。これからの時代に対応するため、価値を創造し向上させる手法としてVEを進化させ、関連手法を含めた探究・研究・開発を行います。今年度は以下の2テーマを取り上げます。

使用者優先！参加メンバー皆様の役に立つことが第一です。多くのご参加をお待ちしています。

①差別化機能の研究チーム (リーダー: IHI・野嶋)

昨年度までにヒット商品開発を目的とした差別化機能抽出法の手順化・検証に一区切りをつけました。今年度当初はそのまとめを行います。引き続き Part IIとして、使用者に訴えかけるヒット商品づくりを目指して、製造本位の思い込みを排除し、顧客本位の新たな戦略(付加価値をつくるストーリー)を創造する手法を研究します。

②VE7つ道具チーム (リーダー: 日本電子・吉見)

5年にわたる“だれでも解決7つ道具”研究で培った道具および分かりやすい解決の考え方知識を踏まえ今年度より、VEL以上のVE有識者が簡単に成果を出しながらVE思考の仲間を増やし、VEの知名度、効果の拡大が図れる“VE7つ道具”の研究を行います。皆さんの日頃の使いやすさ、おススメの道具を研究する中で面白い道具に出会えるかも知れません。一緒に研究してみませんか？



- 最適生産・最適調達のある方を求めて -

## ものづくり部会

対象者: 調達・製造から納入・据付まで、ものづくり全般に携わる方

主 査: 佐藤尚吾〔パイオニア コストエンジニアリング部 課長〕

「ものづくり」とは日本の製造業で発展したノウハウです。また、製造業にとどまらず、建設業、物流、サービス業などの現場にも良い教材、改善の模範があると言われています。当部会ではさまざまな業界や業種のものづくり現場に出向き、現地・現場や現物を確認し、原理・原則や機能・手段などを学ぶことによって、最適な生産・調達のあり方やものづくりの改善手法・事例などをVEにとらわれることなく勉強・研究しています。ものづくりに関心・興味のある方、どうぞ気軽にご参加ください。



●**先進企業の生産活動や改善活動を工場見学によって実感し**、意見交換を行うことで自社のものづくり改善のアイデアやヒントを得るとともに自己のスキルアップを目指します。見学の内容によっては座学でさらに深掘し、理解を深める活動も行います。(2ヵ月に1回程度、一話完結型の活動です)

●**現地・現場や現物を解析しての改善手法であるQCやIEと**、それらから派生した機能を中心に価値改善をはかるVEの関わり方について、**部会メンバーの経験や知識を生かした「改善・ノウハウ勉強会(座学)」**も開催しています。(開催頻度は2ヵ月に1回程度です)

- 事業戦略からまちづくりまで -

## 社会インフラ部会

対象者: 建設業やコンサルタントなど、社会インフラに携わる方

主査: 曾我行雄〔フジタ 建設本部VE推進部 担当課長〕

社会インフラに従事する方々、VE活動の導入や進め方、問題点などを気軽に検討したい方々などを対象として、(A)(B)2つの分科会を展開します。登録の際は、いずれかの分科会に登録(複数可)していただきます。参加メンバーの意見に答えながら、相互の情報交換と実習や技法を勉強するとともに、社会のニーズに応えるVE活動に必要なスキルアップを図ることを目的とします。



(A)「**企業ケース検討会**」:リーダー:IHI・薄衣

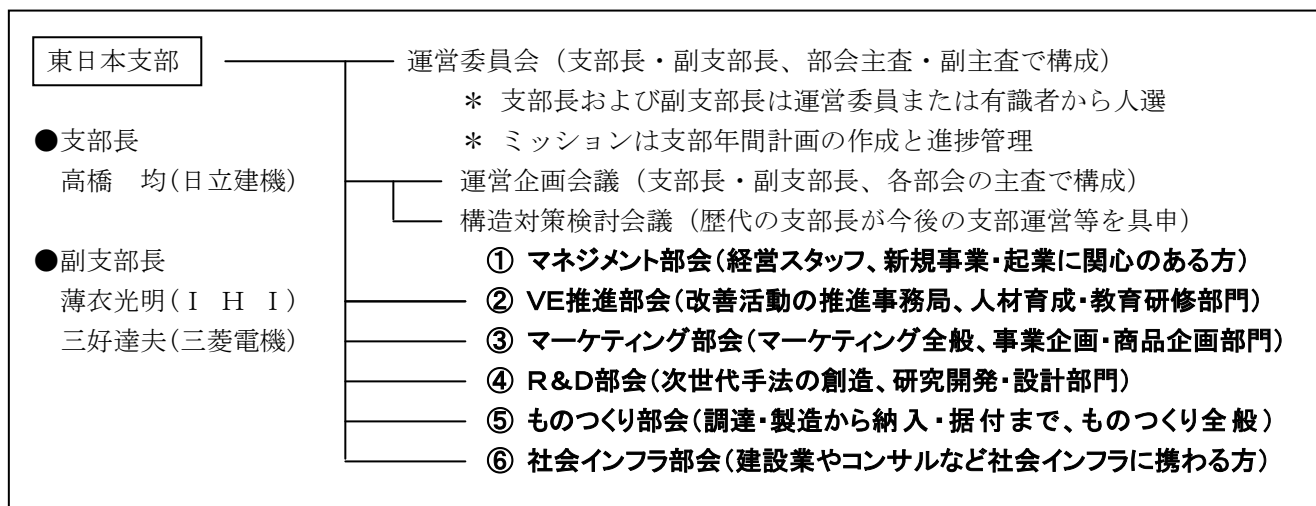
ポーター賞を受賞した企業の分析をもとに、優良企業設計の手法を開発中で、マニュアル化を視野に入れて検討を進めています。VE手法の新しい活用方法を幅広く検討していきます。

(B)「**建設VE研究会**」:リーダー:フジタ・曾我

社会インフラの整備やまちづくりにVE手法を適用するための方法や手法を検討し、資料を作成します。今年度は、「FASTの検討」「公共機関におけるVE推進方法の検討」を中心に活動を進めます。

★ 部会ごとの定例会合以外にメンバー限定の特典もあります。どうぞ奮ってご参加ください。

- 1) 年数回行われる「**事業所見学会**」や「**特別講演会**」に無料で参加できます。先進的なVE活動や効率的な生産システム構築を行っている企業の取り組みを学んだり、VE関連技法や話題のテクノロジーについて知見を広げることができます。
- 2) 毎年3月に行われる「**活動報告会**」に無料で参加でき、講演者や他の部会に登録しているメンバーとの意見交換や情報交流がはかれます。



## 東日本支部 2016 年度部会登録申込書

東日本支部の部会活動の趣旨に賛同し、以下の者をメンバーとして登録します。

登録部会名	登録者		連絡先	
マネジメント部会	氏名		住所	〒
	所属 部門		TEL	— —
			FAX	— —
役職		Eメール	@	
V E 推 進 部 会	氏名		住所	〒
	所属 部門		TEL	— —
			FAX	— —
役職		Eメール	@	
マーケティング部会	氏名		住所	〒
	所属 部門		TEL	— —
			FAX	— —
役職		Eメール	@	
R & D 部 会	氏名		住所	〒
	所属 部門		TEL	— —
			FAX	— —
役職		Eメール	@	
ものづくり部会	氏名		住所	〒
	所属 部門		TEL	— —
			FAX	— —
役職		Eメール	@	
社会インフラ部会	氏名		住所	〒
	所属 部門		TEL	— —
			FAX	— —
役職		Eメール	@	

申込日：2016年\_\_\_\_月\_\_\_\_日

●会社・事業所名 \_\_\_\_\_

●申込担当者 \_\_\_\_\_ ●所属・役職 \_\_\_\_\_

●参加区分 (いずれかに✓)     法人会員     個人会員     官公庁・行政機関     一般

※ご記入いただいた個人情報は、部会内の連絡のために「部会名簿」を作成して支部運営委員ならびに部会メンバーに配布させていただきます。あらかじめご了承ください。